

クビナガリュウ
「ホッピー」

ホッピーだより

No. 338

2013年1月1日発行

むかわ町立 穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6

Tel/Fax 0145-45-3141

ホームページ <http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>

2012 年の調査研究の紹介（外部利用）



楠橋直先生（愛媛大学 助教） 6月27日

哺乳類化石の専門家の楠橋先生と、北海道では未発見の白亜紀哺乳類化石の発見・採集を試みました。残念ながら、今年も発見には至りませんでした。

ご自身の道北での調査の帰りに穂別に寄っていただきました。



山下修平氏・平野健幸氏（静岡大学大学院 博士課程前期学生） 8月11・12日

白亜紀のアンモナイトの多様性変動を調べる研究の一環で、博物館の収蔵資料を調べていただきました。



ともき
唐沢與希氏（京都大学大学院 博士課程後期学生） 8月24日～9月7日

アンモナイトが化石になる過程を明らかにする研究のため、収蔵資料の観察と、野外での地質調査をさせていただきました。

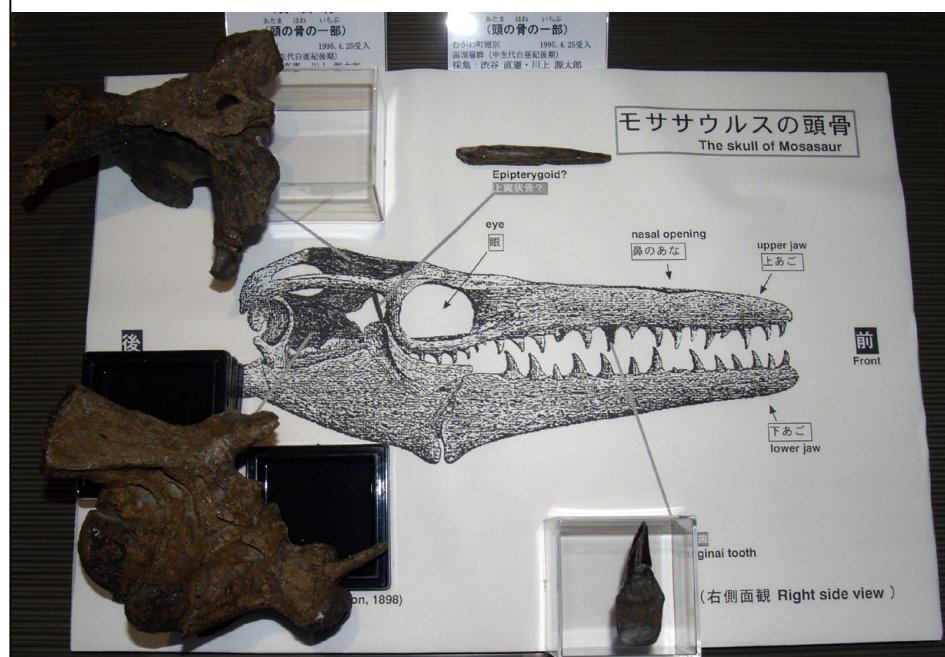


佐藤たまき先生（東京学芸大学 准教授）

11月22・23日

長頸竜（クビナガリュウ）のホベツアラキリュウ（ホッピー）やクリーニング中の標本の観察をさせていただきました。当館資料には未研究のものや再研究の余地のあるものが複数ありますので、今後数年かけて研究を進めていく予定です。

モササウルス・プリズマティクス



国内から産している約40標本のモササウルス類（白亜紀の海棲爬虫類）のうち、現在までに種まで特定されているものは3種（三笠のタニファサウルス・エゾエンシス〔エゾミカサリュウ〕と穂別のモササウルス・ホベツエンシスとこの種）です。そのうちの一つであるモササウルス・プリズマティクスについて紹介します。

10 cm

発見の経緯：1995年4月25日に当館学芸員・学芸補助員の地質調査の際に採集されました。

分類：脊椎動物門 爬虫綱 有鱗目 モササウルス科 モササウルス亜科

Mosasaurus prismaticus（モササウルス・プリズマティクス）

登録番号：HMG-1065

産出部位：歯、頭骨片など

産出地：むかわ町穂別キウス

地質年代：中生代白亜紀後期（カンパニアン～マストリヒチアン期）

研究：1999年の櫻井和彦（当館学芸員）らによる研究*では、保存されていた頭骨の形などからHMG-1065はモササウルス属の1種であり、かつ、縁辺（えんぺん）歯の形が他の種類とは異なっている（歯の断面形がプリズム状）ことから新種であると判断されました。

（*櫻井和彦・地徳力・渋谷直憲，1999，北海道穂別町から産出した *Mosasaurus*（爬虫綱、モササウルス科）の一新種．穂別町立博物館研究報告，第15号，p. 53-66.）

（普及員 西村智弘）

1月14日（成人の日）は町民無料入館日です。

【アクセス】



【利用案内】

開館時間 9：30～17：00（最終入館 16：30）

入館料 個人 / 小～高校生 100円

大人 300円

団体 / 小～高校生 50円

大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

【休館日】

2013年1月

1（火）～5（土）：年始休館
7（月） 15（火） 16（水）
21（月） 28（月）

2013年2月

4（月） 12（火） 13（水）
18（月） 25（月）